



地震発生：2008年5月12日

2008年
(5月～7月)
初動対応

**2団体が調査後に
物資配給**

テント、シート、蚊帳、調理器具など



©ADRA/JPF



©SCC/JPF

現地調査を実施した後、2団体が被災地で必要とされる緊急物資を迅速に配布した。

(8月～11月)
緊急対応

**JPFと事業実施団
体が合同調査**

変わりゆく現地のニーズを把握
心のケアニーズの高まりを確認



©JPF

被災地の復旧のため、必要とされている心のケアの重要性を調査した。

越冬支援

支援が届きにくい山間部への
越冬対策のための防寒衣類
等の配布



©NICCO/JPF

掛け布団と防寒着の配布した。

(11月～5月)
復旧対応

**3団体による
心のケア事業**

子どもたちの心のケアと、将来
心のケアを担う「心理ケア相談
員」の育成



©NICCO/JPF

「震災後の村」についてグループ全員で一つの絵を完成させた。心のケア「絵画ワークショップ」において。



©ADRA/JPF

心理ケア相談員の育成研修の様子。

2009年



写真協力SCJ

心理社会的ケア研修においてみんなで記念撮影。
研修は描画などの感情表現のトレーニングを行うことにより心理ストレスの軽減を目的とする。

支援概要

*2009年5月8日時点

総助成額	1.6億円
総事業数	16事業
事業実施団体数	6団体
事業実施期間	348日
寄付者数	26社、344名

復興対応
(5月～11月)

支援は2009年11月まで継続予定